

# 日本脳炎ワクチンの接種はお済みですか？

まだの方は  
**定期接種対象年齢のうちに忘れずに接種しましょう**



母子手帳で  
接種回数を確認！

2021年度においては、日本脳炎ワクチンの供給量が大幅に減少したことから、3回目・4回目接種を希望される方に接種をお待ちいただいておりますが、2022年4月より、全ての接種対象者の接種が可能となりました※1。

接種を完了されていない方は、定期接種対象年齢のうちに忘れずに接種を受けましょう。

※1 「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの供給について(更新情報)」(令和3年12月10日厚生労働省健康局健康課事務連絡)

## 日本脳炎ワクチンは合計**4**回接種します

日本脳炎ワクチンは、生後6か月～7歳半になる前までに計3回接種、9歳～13歳になる前までに更に1回の接種を定期接種として受けることができます。

生後6か月以上～

7歳半未満

9歳以上～13歳未満



定期接種対象者

- 1期：生後6か月以上7歳半未満の方（標準的な接種年齢：3～4歳）
- 2期：9歳以上13歳未満の方（標準的な接種年齢：9歳）
- 特例対象者：（2003年4月2日～2007年4月1日生まれで20歳未満の方）

2021年度に接種をお待ちいただいていた方

2023年4月～2024年3月に6歳・11歳になる方

## 日本脳炎とは

日本脳炎ウイルスの感染で起こります。ヒトから直接ではなくブタなどの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介され感染します。7～10日の潜伏期間の後、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれんなどの症状を示す急性脳炎になることがあります。日本脳炎ウイルスに感染した人のうち100～1,000人に1人が脳炎等を発症します。脳炎を発症した時の致命率は20～40%ですが、治った後に神経の後遺症を残す人が多くいます※2。特異的な治療法はなく、対症療法が中心となります。日本脳炎は予防が最も大切な疾患です※3。

※2 予防接種と子どもの健康(公益財団法人予防接種リサーチセンター)

※3 「日本脳炎とは」国立感染症研究所 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/449-je-intro.html>

具体的な接種時期は、お住まいの自治体・かかりつけ医にご相談ください。